

講義名	地方行政論/広域行政論			授業形態	
担当教員	長谷川 哲郎	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	RED280

主題と概要

【主題】
地方行政に係る組織や制度、施策などに関する知識の習得

【概要】
基礎的自治体とされる市町村は、道路や上下水道、ゴミ処理や学校、要介護高齢者の支援など、住民の日常生活に必要な行政サービスを提供する重要な役割を担っています。そのため、私たちは必要なときに、必要な行政サービスを受けられるよう、基礎的自治体の果たしている役割やサービス等について、あらかじめ十分に理解しておく必要があります。本講義では、地方行政にかかる制度、市民向けに提供している行政サービス、施策の意思決定メカニズム等について概要を説明します。また、複数の自治体が協働して事務をおこなう広域行政の制度について説明します。

到達目標

- 1) 地方行政として、地方自治体の組織やそれを支える制度、地方自治体が提供する行政サービス等について、理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
- 2) 広域行政に関する基礎的な事項について、理解できるようになる。
- 3) 社会・経済情勢の変化に伴う、地方行政の今日的な課題とそれらへの対応について、理解できるようになる。
- 4) 地方自治体との関わりを有した際に、上記の知識を総合化して対応することで、的確な関係を構築することができるようになる。

提出課題

原則として、毎回の講義内容に関するレポート（ミニレポート課題）の提出を求めます。課題内容や提出方法については、毎回指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ミニレポート課題については、次回講義の冒頭に優良なものを紹介し、質問に対する回答をおこないます。
 毎回講義の冒頭におこなう（前回講義に関する）ミニテストについては、引き続き前回講義内容のふりかえりをおこなうことで理解を深めます。

評価の基準

平常点（講義中のレスポンス、提出課題等）を30点満点で評価します。
 また、毎回講義の冒頭におこなうミニテスト（第8回講義）、および定期試験を70点満点で評価します。
 確認テスト及び定期試験に際しては、携帯電話やパソコンの利用は不可とします。

履修にあたっての注意・助言他

事前に「行政学」を履修していることが望まれます。（必須ではありませんが、履修していることで理解が一層深まります。）
 毎回講義の冒頭に、前回講義内容に関するミニテスト（前回講義資料の持ち込み可）をおこないます。遅刻することなく、必ず受けるようにしてください。
 ほとんどの学生が、今後の人生の中で地方自治体と何らかのつながりを持つこととなるため、（地方公務員志望の学生のみならず、）全学生の履修を推奨します。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.改訂版 これからの地方自治の教科書。	大森彌、大杉寛	第一法規	2750	9784474076990	

その他

講義には、教員のオリジナル資料等を用います。講義時に紙資料として配布するほか、キャンパスクロスにあらかじめ掲載します。

授業計画

- 第01回 イントロダクション
 予習等：シラバス及びキャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、自分の学びの系統にどのように活かせるのかをまとめておく。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第02回 地方自治体の組織
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第03回 地方自治体が提供するサービス
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第04回 地方自治体の財源と予算
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第05回 地方自治体の政策形成プロセス
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第06回 条例と地方自治に関する法体系
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第07回 地方議会の役割
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第08回 ふりかえりと確認テスト
 予習等：確認テストに備えて、これまでの講義内容を復習する。（3時間）
 復習等：確認テストの内容をふりかえり、理解が不十分であった項目について再確認する。（1時間）
- 第09回 地方自治と行政計画
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前々回の講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第10回 地方自治体の補完・協働
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第11回 地方自治のガバナンス強化
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第12回 地方自治のニューバブルックマネジメント
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第13回 市町村合併
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第14回 広域行政
 予習等：キャンパスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- この講義は、本学のディプロマ・ポリシーと次の点で関連します。
- 1) 「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、
 知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材
 - 2) 経済学部 経済学科の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力」のうち
 人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成業の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。
 経済学を基礎にして、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中には、レスポンス等を利用して受講生の意見や考え方を求めることがあります。
 また、毎回講義の冒頭におこなうミニテストや、講義後に提出するミニレポート課題には、Forms等を利用します。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 地方自治体職員としての実績を元に、地方自治体の仕事の進め方や市民接遇など、実体験に基づいた講義をおこなうことで、地方行政にかかる理解の深度化を図ります。

備考

1) 静穏な受講環境の保持
 周囲の受講生に迷惑をかけるような行為（講義に無関係の私語、講義途中の入退室、その他非常識な行為など）は固く禁じます。該当する行為と担当教員が判断した場合には、退室その他の措置をとることがあります。